

看護過程演習

ナンバリング:N2-S1-C08

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義・演習/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

事例を用いて看護過程の展開(情報収集・アセスメント、問題点の明確化、目標設定、計画立案、実施、評価)を行う。ロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)などの思考方法を活用し、実技演習を含めて、個別性に応じた看護展開の方法を学ぶ。
--

・教育成果(アウトカム)

本科目は「看護過程論」の学びに基に、これから学修する各看護領域での看護過程展開の基盤となる科目である。看護の対象となる人々に、計画的に看護を実践する能力と看護援助技術を適切に実施する能力、さらに援助的関係を形成する能力を身につけることを目指す。看護過程論での学びをさらに深め、看護過程の実践、評価のプロセスについて理解を深めることが出来る。個人学修だけでなく、グループ学修を通して多くの意見や見方に接し、看護の対象に対する有効な援助の判断について理解を深めることができる。シミュレーション演習では、看護過程を展開している紙上事例の患者に対する情報収集・看護ケアを病院での実践場面を再現した中で経験する。その経験を振り返って検証することによって、対象との援助的な関係形成を基盤として、実践に必要な知識や観察力、判断力、実践力を身につけることが出来る。そして、グループ学修、シミュレーション演習を通してチームワークの大切さを認識する。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】	
本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護過程のプロセスを説明できる。 2. 事例の疾患について説明できる。 3. 情報を適切な項目に記載できる。 4. 判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 5. アセスメントした内容に基づく関連図が記述できる。 6. 病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 7. 看護上の問題をあげることができる。 8. 問題の優先順位をつけることができる。 9. 評価可能な目標を設定し、目標に応じた評価日の設定ができる。 10. 具体的な看護計画の立案ができる。 11. 必要な情報が記述され、妥当な評価と評価に基づいた計画の修正ができる。 12. 自己の考えを仲間に話し、仲間の話しにも耳を傾け、効果的な意見交換をすることができる。 13. シミュレーション演習を通して、看護の実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 14. 事例に必要な看護技術を実践できる。 15. 事例の展開を通して、看護過程を展開する上での自己の課題を述べるができる。 16. グループワーク、シミュレーション演習後での自己の課題を述べるができる。 17. 看護過程の展開に必要なロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)の考え方を説明できる。
--

・授業日程

【演習】

会場：西1-B講義室、マルチ2-A実習室、マルチ2-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/7 月 2限	【授業内容】 看護過程演習ガイダンス ・看護過程のプロセスを説明できる。 【関連するSB0】 1 【事前学修:30分】 看護過程論(1学年履修科目)を復習する 【事後学修:30分】 事例の疾患について調べる	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/11 金 3限	【授業内容】 事例Aを用いての看護過程①(個人ワーク) ・事例の疾患について説明できる。 【関連するSB0】 2 【事前学修:30分】 事例の疾患について調べる 【事後学修:30分】 事例のアセスメントに必要な事項(病態,治療,薬剤,検査結果の見かた,心理面,看護ケアなど)について調べる	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/15 火 3限	【授業内容】 事例Aを用いての看護過程②(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】 3,4 【事前学修:30分】 事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/16 水 3限	【授業内容】 事例Aを用いての看護過程③(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】 3,4 【事前学修:30分】 事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/18 金 3限	【授業内容】 看護過程の事例を用いた看護技術演習 ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 14 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/18 金 4限	【授業内容】 看護過程の事例を用いた看護技術演習 ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 14 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/24 木 2限	【授業内容】 事例Aを用いての看護過程④(個人ワーク) ・アセスメントした内容に基づく関連図が記述できる。 【関連するSB0】 5 【事前学修:30分】 関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
4/25 金 3限	【授業内容】 事例Aを用いての看護過程⑤(個人ワーク) ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・看護上の問題をあげることができる。 ・問題の優先順位をつけることができる。 【関連するSB0】 6,7,8 【事前学修:30分】 関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/9 金 3限	【授業内容】 事例Aを用いての看護過程(グループワーク/アセスメント発表) ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・自己の考えを仲間に話し、仲間の話しにも耳を傾け、効果的な意見交換をすることができる。 1)各パターン、必ず一人ずつ、アセスメントを発表 2)1)をふまえ、この事例の全体像を把握するために項目間の関連を検討し、1枚の用紙に関連図としてまとめる 【関連するSB0】 6,12 【事前学修:30分】 自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】 グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

5/9 金 4限	【授業内容】事例Aを用いての看護過程(グループワーク/看護計画の検討) ・看護上の問題をあげることができる。 ・問題の優先順位をつけることができる。 ・評価可能な目標を設定し、目標に応じた評価日の設定ができる。 ・具体的な看護計画の立案ができる。 ・自己の考えを仲間に話し、仲間の話しにも耳を傾け、効果的な意見交換をすることができる。 【関連するSB0】7,8,9,10,12 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/14 水 3限	【授業内容】事例Aを用いての看護過程(グループ発表) ・自己の考えを仲間に話し、仲間の話しにも耳を傾け、効果的な意見交換をすることができる。 【関連するSB0】12 【事前学修:30分】グループでの検討内容を見直す 【事後学修:30分】発表内容をふまえ、自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/14 水 4限	【授業内容】事例Aを用いての看護過程(グループ発表) ・自己の考えを仲間に話し、仲間の話しにも耳を傾け、効果的な意見交換をすることができる。 【関連するSB0】12 【事前学修:30分】グループでの検討内容を見直す 【事後学修:30分】他のグループの発表内容をふまえ、自己の記載内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/21 水 4限	【授業内容】事例Aを用いての看護過程⑥(個人ワーク) 必要な情報が記述され、妥当な評価と評価に基づいた計画の修正ができる。 【関連するSB0】11 【事前学修:30分】看護計画の評価の記載方法について復習する 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/22 木 4限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程①(ガイダンス・個人ワーク) ・事例の疾患について説明できる 【関連するSB0】2 【事前学修:30分】事例の疾患について調べる 【事後学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項(病態,治療,薬剤,検査結果の見かた,心理面,看護ケアなど)について調べる	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/28 水 2限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程②(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】3,4 【事前学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/30 金 3限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程③(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】3,4 【事前学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/4 水 2限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程④(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】3,4 【事前学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/6 金 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習 ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】14 【事前学修:30分】演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/6 金 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習 ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】14 【事前学修:30分】演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

6/10 火 3限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程⑤(個人ワーク) ・アセスメントした内容に基づく関連図が記述できる。 【関連するSB0】5 【事前学修:30分】 関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/11 水 4限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程⑥(個人ワーク) ・アセスメントした内容に基づく関連図が記述できる。 【関連するSB0】5 【事前学修:30分】 関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/13 金 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習のガイダンス ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/16 月 2限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習 ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/16 月 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習 ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/16 月 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習 ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/20 金 2限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習 ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/20 金 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習 ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/20 金 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いたシミュレーション演習 ・シミュレーション演習を通して、看護実践(情報収集・ケア・報告)ができる。 【関連するSB0】13 【事前学修:30分】 シミュレーション演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 シミュレーション演習の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/24 火 2限	【授業内容】事例Bを用いての看護過程⑦(個人ワーク) ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・看護上の問題をあげることができる。 ・問題の優先順位をつけることができる。 【関連するSB0】6,7,8 【事前学修:30分】 関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】 自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

6/24 火 4限	【授業内容】看護過程のまとめ ・事例の展開を通して、看護過程を展開する上での自己の課題を述べることができる。 ・グループワーク、シミュレーション演習後での自己の課題を述べることができる。 ・看護過程の展開に必要なロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)の考え方を説明できる。 【関連するSBO】15,16,17 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】授業内容の振り返りをする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
-----------------	---	---

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学(3) 基礎看護技術Ⅱ	松尾ミヨ子	メディカ出版	2022
教	アセスメント・看護計画がわかる症状別看護過程 第2版	小田正枝	照林社	2021
参	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延	南山堂	2023
参	今日の治療薬2025 解説と便覧	伊豆津宏二 他	南江堂	2025
参	看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント 第1版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2019

・成績評価方法

【総括的評価】 事例の看護過程の記述内容60%(事例A-30%、事例B-30%) 演習(グループワーク、シミュレーション演習、看護技術演習)への取り組み40% *各評価のためのルーブリックは、課題提示時に一緒に提示する 面談で記録内容の振り返りを行い、理解度を確認する
--

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・授業資料はWebClassで配信する。 看護過程記録用紙: その他課題の用紙は、適宜コメントし返却する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 基礎看護学 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、基礎看護学領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	CPS実習ユニットⅡ,接続用吸引器・酸素流量計	2	シミュレーション演習
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	シミュレーション演習
演習	フィジカルアセスメントモデル“Physiko”	3	シミュレーション演習
演習	多職種連携ハイブリッドシミュレータ“SCENARIO”	2	シミュレーション演習